

発表テーマ	尾張旭市公民連携イノベーション提案制度「OASIS」
概要	限られた経営資源のもとで、良質で持続可能な市民サービスを提供するためには、これまでの行政主導型の課題解決の枠から脱却し、厳しい競争の中でアイデアやノウハウ、技術などを培ってきた民間事業者等と柔軟に連携し、その力を最大限に発揮してもらう「公民連携」の取組により、これまでにない財源の確保や、市の財政負担を抑えたサービスの提供などを推進していく必要があります。 本グループが導入を提案する「尾張旭市公民連携イノベーション提案制度「OASIS」」は、本市と民間事業者等が、対等な関係で対話や協議を重ねながら、地域課題・行政課題の解決に向け双方にとってメリットのある事業の実現を目指す民間提案制度です。 また、本制度は、民間事業者等が提案の参入に魅力を感じられるよう、提案が採択された場合には当該提案者との随意契約の締結を前提としていることが特徴となっています。 発表では、ネーミングに込められた意図をはじめ、他自治体における取組事例等を紹介し、構築した本制度の具体的な事務手順である「事前対話」「提案」「詳細協議」等の進め方や、制度の本格導入に向けてモデル的に実施する取組の案についても提案します。 本制度の導入により、本市は、多様な民間事業者等と連携して様々な地域課題・行政課題を乗り越え、新たな歳入の確保や支出の抑制を図り、ともに新たな価値や魅力を生み出し続ける自治体となっていくことを目指します。